

# 水性カチオンエポキシ複合形下塗材

# 水性カチオンシーラー透明 水性カチオンシーラーホワイト

次世代の水性タイプシーラーのエース! 従来タイプの下塗材と比べ、優れた性能を実現!

## 特長

### 1. すぐれた電荷安定性

**A 一般水性アニオン形下塗材**

一般水性アニオン形下塗材

**B 水性カチオンシーラー**

水性カチオンシーラー

水性カチオンシーラーは一般水性下塗材に比べ電荷安定性が高く、素地との密着を高めます。

JIS K 5663  
合成樹脂エマルジョンシーラー

JIS A 6909  
建築用仕上塗材 外装厚塗材E 外装薄塗材E  
防水形外装薄塗材E、複層塗材E/RE  
防水形複層塗材 E/RE 下塗材

### 2. 浸透・固着力

水性カチオンシーラー

素地に浸透して、表面強度を高めます。

### 3. 高付着性

水性カチオンシーラー

上塗り等

カチオンエポキシ複合形であるため上塗りとの密着にもすぐれています。

※上図はイメージです。

適用用途	戸建住宅、マンション、ビル、学校、病院などの外部および内部壁面への新築・塗替塗装の下塗りとして。
適用下地	新築：モルタル、コンクリート、PC板、スレート板、押出成形セメント板、木部、けい酸カルシウム板などの各種素材に。 塗替：吹付けタイル、スタッコ、セメントリシン、アクリルリシン、アクリルエナメル、弾性系仕上げ材、塩化ビニールエナメル、ウレタンエナメル、エマルジョン塗装などの各種既存塗膜に。
適用上塗り	水性上塗り塗料：エコフラットシリーズやオーテコートGエコ等内装水性上塗り塗料全般 オーデフレッシュシリーズや水性シリコンセラルUV等外装水性上塗り塗料全般 弱溶剤上塗り塗料：ファイン4Fセラミック・ファインシリコンフレッシュII・ファインSi・ファインウレタンU100・ケンエースGII

\*上記以外の上塗りの適用については、最寄の営業所までお問合せください。

## 塗装仕様例 新設 / 塗り替え

### ■コンクリート面 弾性なみがた仕上げ (JIS A 6909 防水形複層塗材E)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ、ウールローラー
	水性カチオンシーラーホワイト				水道水	0~10	
主材 ベース塗り	DANタイル中塗Rホワイト(注1)	1	0.80~1.20	4時間以上	水道水	4~6	砂骨ローラー
		1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	4~6	砂骨ローラー
上塗り	DANタイル水性上塗	2	0.17~0.20	4時間以上	水道水	5~10	ウールローラー
	オーデフレッシュ Si100Ⅲ(注2)				水道水	5~10	ウールローラー

(注1) スプレー塗装の場合はDANタイル中塗Sホワイトをご使用ください。(注2) 「つや有り・7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り」よりお選びください。(つや消しの適用は不可)

### ■コンクリート面 高弾性凹凸仕上げ (JIS A 6021 建築用塗膜防水材料)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ、ウールローラー
	水性カチオンシーラーホワイト				水道水	0~10	
主材 ベース吹き	DANエクセル中塗J	1	1.70~2.10	4時間以上	水道水	4~7	タイルガン
		1	0.60~1.00	16時間以上	水道水	0~2	タイルガン
上塗り	DANエクセル水性シリコンⅡ	2	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー/エアレススプレー
	DANエクセル水性フッ素Ⅱ						

### ■内部けい酸カルシウム板面

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ、ウールローラー
	水性カチオンシーラーホワイト				水道水	0~10	
上塗り	ニッペ水性ケンエース	2	0.12~0.14	2時間以上	水道水	2~8	はけ、ウールローラー
	エコフラット60・70・100	2	0.12~0.14	2時間以上	水道水	5~10	はけ、ウールローラー
	オーテコートGエコ	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります) ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※塗替で下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施してください。 ※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

## ●使用方法

【混 合】使用前に十分にかくはんしてください。

	水性カチオンシーラー透明	水性カチオンシーラーホワイト
使用量	0.10~0.16kg/m <sup>2</sup> /回(はけ、ローラー塗り)	
希釈剤(希釈率)	無希釈	水道水(0~10%)

- けい酸カルシウム板は、製造メーカー、比重により使用量が異なりますのでご注意ください。
- 使用量は標準の数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により幅を生じ増減します。

## ●乾燥時間

\*この数値は塗分量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

	5℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	6時間以上	4時間以上	2時間以上

## ●容量・色相

塗料名	容量	色相
ニッペ水性カチオンシーラー透明	15kg	乳白色
ニッペ水性カチオンシーラー ホワイト		白色

## ●性能

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
低温安定性	-5℃に冷やしたとき変質してはならない。	合格
低温造膜性(5℃)	5℃で塗膜形成に異常があってはならない。	合格
塗装作業性	はけ塗りに支障があってはならない。	合格
乾燥時間(表面乾燥性)	2時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格
耐水性	水に96時間浸漬したとき異常があってはならない。	合格
耐アルカリ性	水酸化カルシウムの飽和溶液に、48時間浸漬で異常ないこと。	合格
初期乾燥によるひび割れ低抗性*	ひび割れがないこと。	合格
付着強さ* N/mm <sup>2</sup> 浸水後	1.0以上 0.7以上	合格 合格
温冷繰り返し*	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び汚れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格
耐衝撃性*	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格
透水性B法*	0.5以下	合格

\*JIS A 6909 建築用仕上塗材 防水形覆層塗材REの下塗り材として使用の場合。

## 注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- 他の水性塗料と混合するとゲル化することがありますので、混合したり、はけ、ローラー、エアレス装置などの共用は避けてください。
- 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起しますので、塗り重ね乾燥時間を守ってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生する恐れがありますので避けてください。
- 劣化の著しい外部部材については、表層剥離の恐れがありますので、施工は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出する恐れがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きで除去してください。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 容器に小分けする場合はポリ容器をお使いください。(鉄製、ブリキ製は腐食します)
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこす恐れがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- やがて著しく付着している場合は、ウエスなどでやがて水拭きして除去し被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやがて止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗表面を下に乾燥させてから塗装してください。
- 下にタバコやに汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーIIを塗装してください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロッセンス、レイタンスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪の恐れがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起すことがありますので、原則としてニッペパーフェクトNBシールを除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペフリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をはかると著しくはくクロス)には塗装できません。
- ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 上塗りに溶剤系塗料のご使用は避けてください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項 (水性カチオンシーラー ホワイト)

横倒禁止

- 使用前に取扱説明書入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 本来の用途以外に使用しないこと。
- 取り扱い中に酸化剤との接触を避けること。  
(酸化剤の例: 消防法第1類、消防法第6類、硝酸、過酸化水素水、水酸化ナトリウム、水酸化カルシウム)
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- 口をすすぐこと。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理すること。
- 施設にて保管すること。
- 直射日光や水濡れは厳禁。
- 塗料等の缶の積み重ねは5段までとする。
- 容器は、つり上げないこと。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意すること。(荷荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険がある。)
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

\*上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
□本製品は日本国内での使用に限り、輸出される場合は事前にご相談ください。

## 危険



## 危険有害性情報

強い眼刺激/遺伝性疾患のおそれの疑い/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9320  
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180  
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2022 NIPPON PAINT Co., Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
NP-A047

TY221117T  
2022年11月現在